

比内地鶏の情勢

平成28年4月
畜産振興課

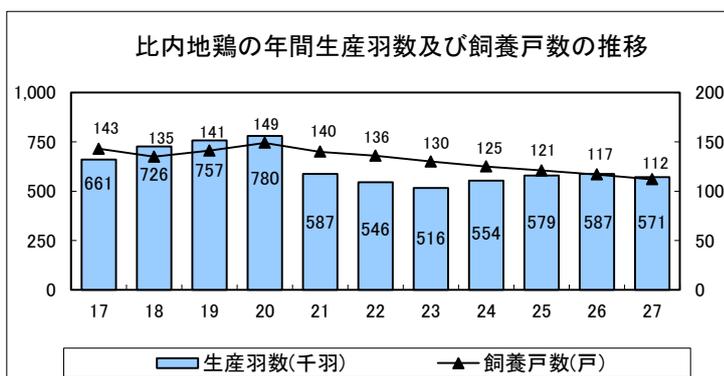
1 飼養動向

- ・飼養戸数は、平成16年以降は140戸前後で推移してきたが、近年は減少傾向にあり、27年の飼養戸数は前年比△5戸の112戸となった。
- ・なお、県北地域における飼養戸数は89戸で、全県の約80%を占めている。
- ・生産羽数は、24年から3年連続で増加傾向で推移してきたが、27年は前年比97%の571千羽で、微減となった。
- ・なお、県北地域における年間出荷羽数は520千羽で、全県の90%以上を占めている。
- ・生産羽数が減少したものの、飼養戸数も減少したことから、1戸当たりの平均生産羽数は、前年比102%の5,098羽と同水準であった。

○ 飼養動向の推移

年次	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
飼養戸数	143	135	141	149	140	136	130	125	121	117	112
前年比	102%	94%	104%	106%	94%	97%	96%	96%	97%	97%	96%
生産羽数	661	726	757	780	587	546	516	554	579	587	571
前年比	101%	110%	104%	103%	75%	93%	95%	107%	105%	101%	97%
一戸当たり 生産羽数	4,622	5,378	5,369	5,235	4,193	4,015	3,969	4,432	4,785	5,017	5,098
前年比	99%	116%	100%	98%	80%	96%	99%	112%	108%	105%	102%

(単位：戸、千羽、%)
(畜産振興課調べ)



○ 市町村別順位 (平成27年)

- ・生産農家数の多い市町村
①大館市(36戸)、②北秋田市(20戸)、
③能代市(15戸)、④三種町(6戸)
④上小阿仁村(6戸)
- ・生産羽数の多い市町村
①大館市(277千羽)、②北秋田市(119千羽)、
③三種町(43千羽)、④上小阿仁村(31千羽)、
⑤能代市(28千羽)、⑥由利本荘市(24千羽)

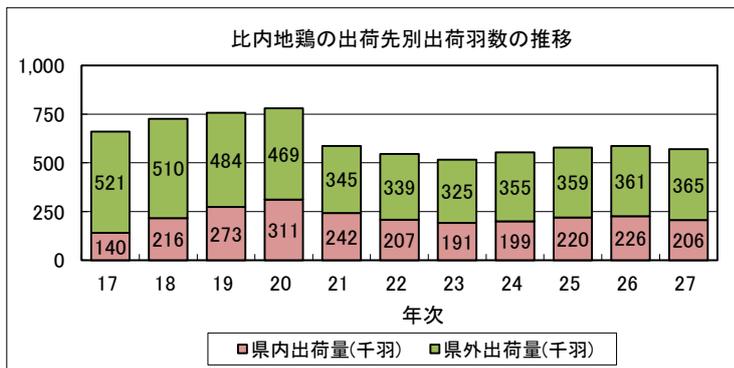
2 流通動向

- ・27年の生産羽数571千羽の出荷先内訳は、県内向けが全体の36%の206千羽、県外向けは64%の365千羽であった。
- ・県外向けは前年比3ポイントの増加となった。

○ 流通動向の推移

年次	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
生産羽数	661	726	757	780	587	546	516	554	579	587	571
前年比	110%	110%	104%	103%	75%	93%	95%	107%	105%	101%	97%
県内出荷量	140	216	273	311	242	207	191	199	220	226	206
構成割合	21%	30%	36%	40%	41%	38%	37%	36%	38%	39%	36%
県外出荷量	521	510	484	469	345	339	325	355	359	361	365
構成割合	79%	70%	64%	60%	59%	62%	63%	64%	62%	61%	64%

(単位：千羽、%)
(畜産振興課調べ)



○ 出荷先別割合 (平成27年)

